

<新聞をつくる上でのポイント>

文字だけでなく、写真やイラストを入れて
分かりやすく、表現してみよう!

読者が
興味をもってくれるのは
見出しをつけよう!

本を読まなくても利用できる!
椎葉村図書館(ぶん文Bun)の活用術を司書がご紹介!

洗濯中の待ち時間に
カテリエ一階にあるコインランドリ
。洗濯が終わるまでの時間、二階の
図書館を訪れてみませんか? 「図書館
は、本を借りる場所、読書をする場
所」というイメージが強い方も多いよ
うですが、そんなことはありません。
コーヒー片手にぼうっと本棚を眺めて
みたり、映画を視聴してみたり、雑誌
やマンガを手にとってパラパラとめく
ってみたり、ヨガボークッションで休
憩してみたり・・・つかの間のリラッ
クスタイムとしてぜひご利用くださ
い。ぶん文Bunスタッフもあなたの
リラックスタイムを応援しています♪

図書館では「レファレンスサービス」を行
っています。レファレンスとは一言でいう
と、お困りごと相談サービスのことです。
「何かを知りたい」「調べものをしたい」
そんなときはぜひ司書スタッフにお声がけ
ください。たとえば、今まではこんな相
談が寄せられています。「ヤギの飼い方に
ついて知りたい」「自作で小屋を作りたい
が作り方の本はないか」「昔読んだ本のタ
イトルがわからないけれどもう一度読みた
いので探してほしい」「本を読んだことが
ない私でも読める本を紹介してほしい」
「上椎葉タムの歴史を知りたい」「新しい
種類の野菜を育てたい」などなど、ぜひぜ
ひお気軽に司書スタッフにお声がけくださ
いませ♪

【参考】椎葉村図書館ホームページ「レファレンスサービスを利用する」
<https://lib.katerie.jp/index.php/users-guide/205-refa> (2026年5月26日参照)

【提出例】

ぶん文 Bun 新聞



名前 (なまえ)
北村春香

作成日
2026年4月23日

一人目は、田中葵葉さん。秘境の文筆家として活躍する彼女は散歩を日課にしているのですが、なんと、図書館内を雨の日の散歩コースにしているのです。ぐるぐるど館内を何周も回りながら散歩。少し司書が本の位置を変えると「そういえばここの景色変わりましたね」とまるで四季を楽しめるように図書館の棚の景色を楽しんでいるようです。

二人目は、マイクさん。かてりえで、eスポーツ教室や英語教室を行っているマイクさん。図書館をお仕事の作業場所としてよく利用されています。図書館の個室スペースでは、コンセントも利用できるので、充電しながらのパソコン作業も快適です♪

「こんな使い方もあり?」
独自の方法で図書館を活用している
常連たちにインタビュー!!

お仕事中的
マイクさん



お散歩中の
葵葉さん



タイトルには
「〇〇新聞」と最後に
「新聞」という
言葉を必ず
つけよう!

自分の名前を
必ず入れよう!

新聞を
作成した日
必ず入れ
よう!

本やインターネットで
調べた情報を使うときは
必ず参考文献
を入れよう!

気になることは、インタビューしてみよう!
直接聞いた話を記事にして
みることもできる。インタビューに
内容を書く際は、その人に確認を
とり、その人のプロフィールをのせよう!

新聞の作り方が分からない、
テーマを迷っているなどのご相談は
お気軽に司書スタッフまで
お声がけ下さい!
ぜひ一緒に素敵な新聞を
つくりましょう!